

カナダでのプログラム最終日、爽やかな青空の下、ホストファミリーに送られて全員元気に登校してきました。週末の 2 日間、生徒たちは地元の理容室で髪の毛を切ったり、海を見に出かけたり、もちろんショッピングモールで買い物をしたり等、それぞれのホストファミリーと楽しく過ごしたようです。勿論、緊急連絡の携帯は一切鳴りませんでした。

午前中の前半は、ESL 講師クリスティン先生とこの 1 週間のプログラムの振り返りを行い、楽しかったこと、良かったこと、印象に残ったことや単語などについて、それぞれが話していききました。

後半は、バンクーバーで建築設計事務所を運営し、環境性能の優れた持続可能な社会に貢献できる建物の設計開発と普及をされている伊藤公久先生に、Sustainability をテーマに講演頂きました。講演の中では、SDG s の 17 のゴールの内、8 つの項目にフォーカスして、現在の地球の置かれている状況とそれが及ぼす影響と諸問題を解説頂きました。UBC で行われた John 氏のワークショップと同様、「Equity」「Ecology」「Economy」の 3 要素のバランスが大事だということにつながりました。大切なことは、「地球は未来の子供たちから借りている」ものであり、これを守り持続可能な社会を作っていくためには、「身近な環境を知ること」「気候変動に関して学ぶこと」「サステナビリティに関して考えること」「自分の興味ある目標を見つけること」「周りの人に伝えること」の 5 点を主体的に行っていくことだと力説されていました。講演終了後に質疑応答を行いました。最終日だからか多の手が挙がり、半数以上の生徒が質問をしました。特に男子は 5 名全員が質問をし、中には 3 回も質問をする生徒もいました。講演の内容に関しては勿論のこと、先生も卒業された UBC に関することや、「個性」とは何か？等、非常にユニークなものもありましたが、伊藤先生も予定時間を 40 分もオーバーし、それぞれの質問に丁寧に答えていただきました。

午後は、ホストファミリーとの生活を振り返りながら、今夜渡すサンキューカードを作成しました。生徒たちは、ファミリーとの思い出と感謝の気持ちを書いた手紙を熱心に作成していました。プログラムの最後に、一人ずつクリスティン先生から修了証書を頂きました。先週前半の到着当初は緊張していたのか、非常に静かでおとなしかったのですが、今日は終始和やかで楽しそうな雰囲気の中、みな笑顔で証書を受け取る姿に、この 1 週間での大きな成長が感じられました。

スタディーセンターでのプログラムはこれで終了となり、明朝はホストファミリーとお別れの後、グランビルアイランドを散策して、夕方の飛行機にてバンクーバー空港から帰国の途に就くこととなります。

以上、カナダ研修 9 日目の報告となります。 写真) 伊藤先生の講演





修了証書をもって記念撮影 クリスティ先生と GPI コーディネータの上地さんと